令和４年度　事業計画書

令和４年４月１から令和５年３月31日

特定非営利活動法人ハートキッズ・ジャパン

１　事業実施の方針

昨年度に引き続き、心臓病について一般市民に理解をしてもらう機会を増やすことに力を注ぐことを目標とする。イベントとしては、昨年に引き続き、千葉市科学フェスタに参加し、人工心肺装置などに触れてもらう機会を作る。小中学生向けの「ハートキッズ教室」は昨年同様、千葉市科学館での開催の他に、他地方自治体での開催を目論む。また地域の中学生・高校生向けにも命の授業などでの講演会の機会を作る。クリスマス時の小児科病棟のサンタクロース訪問は継続し、入院中の子供たちにプレゼントを配布し、勇気づけるイベントを行う。

基幹事業としての、単心室症の子どもの救命率向上目的で「ホームモニタリングプログラム」を開始する。導入する病院と連携し、心臓病を持つ子どもの家族が安心できるシステムを安全に導入し、軌道に乗せることを目標にする。スマートフォンアプリの使用も開始する。

ホームページの充実を図り、心臓病に関する情報がわかりやすく得られる工夫を進めていく。千葉市を拠点に全国的な展開も徐々に始めていく。

２　特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
(1)心臓病に関する教育及び啓発事業	ウェブサイト・Facebook等のSNSを通じた広報活動。	随時	法人事務所	8名	一般市民、小中学生、心臓病を持つ子どもたちと家族、医療従事者、胎児医療に関わる医師、看護師等 延べ200人
	千葉市科学フェスタに参加。人工心肺装置の機器展示とその紹介。	令和４年１０月	千葉市きぼーる		
	1日心臓外科医を子どもたちに体験してもらい、心臓病や人体の血液の流れについて理解を深めてもらうための「ハートキッズ教室」を開催	令和４年１０月	千葉市科学館		
(2)心臓病を持つこどもと家族の支援事業	入院中の子どもたちを励ますために、クリスマス時期に、サンタクロースから入院中の子供たちにプレゼントする。	令和４年１２月	千葉大学附属病院小児病棟	6名	入院中の子どもたちと家族 50人
	単心室症の子どもの救命率向上のための「ホームモニタリングプログラム」の開始。スマートフォンアプリの運用開始。	随時	インターネット上での紹介、病院、家庭	5名	一般市民、心臓病を持つ子どもたちと家族、治療に関わる医師、看護師 等 5人/月